

タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4605		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	近藤 克之		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 4		
講義室	1403	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門科目		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D P コード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP 3 - G〔状況把握力・判断力〕自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP 4 - F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP 4 - I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP 5 - J〔創造的挑戦力・達成力〕コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 DP 8 - M〔省察力〕知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C R コード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 G1 状況把握 — 30% F1 探究と論拠 — 10% F2 課題解決 — 10% I1 理解・分析と読解 — 8% I2 量的分析 — 6% I3 情報分析 — 6% J1 継続的学修基盤 — 7.5% J2 創造的思考 — 7.5% M1 統合的・応用的学修 — 15%		
教員の実務経験	2010年から日本パラ陸上競技連盟強化委員として、障がいのある選手に対するサポート事業に携わってきました。また、日本スポーツ振興センターや東京都障がい者スポーツ協会主催の発掘事業、関東地区の競技普及振興にも協力してきました。障がいのある選手のみならず、多くの人がスポーツを行うためには、身近に活用できる施設・環境が整備されていることの重要性とそれらの人を支援する人的資源の確保が重要であることも認識してきました。これらの経験を踏まえ、学生が実社会で役立てられるような考えを養えるよう本科目を展開していきます（第1回から15回）。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	学生が興味関心の高い分野を選択し、講読・調査・報告・議論などを行うことによって、研究を進める上での基礎知識、研究方法を学びます。ゼミナール I では、グループで課題を設定		

	し、共同で研究を進めることで、互いに知識を修得していくことを目的としています。ここでは、学生自身が興味関心のある課題やそれに関わる種々の問題について、基礎的な理解を深め、それらについてプレゼンテーションを行う準備を整えます。授業形態は、演習により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 ■キーワード：アダプテッド・スポーツ、社会学的調査、質的研究、スポーツマネジメント、地域スポーツ、スポーツプロモーション、スポーツ政策						
授業の趣旨	■副題 アダプテッド・スポーツやスポーツマネジメントの考え方をいながら、スポーツと社会の関係性を捉え、身近な課題を解決していくことを目指していきます。 ■授業の目的 本授業の目的は、学生個々の問題意識を表象化させ、お互いの課題を共有することを通し、その解決策を見出していく姿勢を養うことです。また、卒業論文執筆に向け、研究成果を論文にまとめていくための基礎を構築していくことも目的となります。 ■授業のポイント 研究の進め方について自身の興味のある分野、領域の方法を学習します。学習した内容を基に自身もしくはグループで研究計画の立案を行い、研究計画に関する議論から適切な方法を選択していくことを目指します。						
総合到達目標	■自身の興味関心に応じて適切に研究を行うために、先行研究を精読し、基礎的な研究方法を修得する。 ・自身の興味のある分野、領域の研究の進め方について選択すべき方法などを列挙できる。 【知識】（第1回から15回） ・他者との議論を重ね、自身およびグループの研究テーマを討論できる。【態度】（第1回から15回） ・PCや図書館を利用して先行研究を調べることができる【技能】（第1回から15回）						
成績評価方法	■ディスカッション10回（50%）：適用ルーブリック G1・F1・F2 （評価の観点）提示された課題に対し、まずは自身の考えが整理されているか確認します。その後、個々の考えを持ち寄り、研究として捉えるための妥当性や客観性の検討、社会に還元する方策などをディスカッションすることができているか確認します。 （フィードバックの方法）ディスカッションした内容を模造紙に整理し、教員の助言の下、全員で確認します。 ■プレゼンテーション5回（50%）：適用ルーブリック I1・I2・I3・J1・J2・M1 （評価の観点）個々の考えを持ち寄り、グループ課題を設定し、設定された課題に対する目的や研究手法に整合性が認められるか評価します。 （フィードバックの方法）評価用紙を用いて、プレゼンテーション内容の評価を示します。また、改善点や提案があれば、追記して返却します。						
履修条件	本科目は必修科目です。						
履修上の注意点	計画的な研究活動を目指しましょう。						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、ゼミナールⅠで学習する事項を確認し、授業の進め方や評価の観点を説明できるようになる（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認して来る。不明点があれば質問できるよう準備を行う。 ④復習（120分） ガイダンスによって説明された内容を整理し、グループ研究の展望を見据える。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 研究とは何か ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、コーチング学研究法演習で学修した研究の意義や、授業で扱う学術領域、研究倫理等について説明できるようになる（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。また授業において取り組むグループ研究についての概要を説明できるようになる（G1、F1、I1）。 ③予習（120分） 2年次開講科目コーチング学研究法演習の研究に関する授業資料を読み返し整理しておく。 ④復習（120分） </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、ゼミナールⅠで学習する事項を確認し、授業の進め方や評価の観点を説明できるようになる（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認して来る。不明点があれば質問できるよう準備を行う。 ④復習（120分） ガイダンスによって説明された内容を整理し、グループ研究の展望を見据える。	2	①授業テーマ 研究とは何か ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、コーチング学研究法演習で学修した研究の意義や、授業で扱う学術領域、研究倫理等について説明できるようになる（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。また授業において取り組むグループ研究についての概要を説明できるようになる（G1、F1、I1）。 ③予習（120分） 2年次開講科目コーチング学研究法演習の研究に関する授業資料を読み返し整理しておく。 ④復習（120分）
回	内容						
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、ゼミナールⅠで学習する事項を確認し、授業の進め方や評価の観点を説明できるようになる（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認して来る。不明点があれば質問できるよう準備を行う。 ④復習（120分） ガイダンスによって説明された内容を整理し、グループ研究の展望を見据える。						
2	①授業テーマ 研究とは何か ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、コーチング学研究法演習で学修した研究の意義や、授業で扱う学術領域、研究倫理等について説明できるようになる（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。また授業において取り組むグループ研究についての概要を説明できるようになる（G1、F1、I1）。 ③予習（120分） 2年次開講科目コーチング学研究法演習の研究に関する授業資料を読み返し整理しておく。 ④復習（120分）						

	グループで研究課題を設定していくために、授業内容を振り返り、研究の視点を定める。
3	①授業テーマ 文献研究① ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、グループで研究課題を設定するために個々の考えを持ち寄り、先行研究に関する文献を精読し、明らかにされていることや研究方法について討論できるようになる（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。 ③予習（120分） グループの研究課題を設定していくために教員から示されるキーワードを基に、それに関連した文献を少なくとも5編抽出し、その内容を熟読してくる。 ④復習（120分） グループの研究課題を設定するために、さらに必要な文献を収集し内容を整理しておく。
4	①授業テーマ 文献研究② ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、グループで研究課題を設定するために個々の考えを持ち寄り、先行研究に関する文献を精読し、明らかにされていることや研究方法について討論できるようになる（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。 ③予習（120分） グループの研究課題を論理的に説明するための文献を収集し、記載内容を整理しておく。 ④復習（120分） 自身が選んだ文献の研究手法や結果について、グループの研究課題に即したものかを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
5	①授業テーマ 文献研究③ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、グループで研究課題を設定するために個々の考えを持ち寄り、先行研究に関する文献を精読し、明らかにされていることや研究方法について討論できるようになる（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。ディスカッションの結果、グループ研究課題を設定できる（F1、J1、J2）。 ③予習（120分） グループの研究課題を論理的に説明するための文献を収集し、記載内容を整理しておく。 ④復習（120分） 自身が選んだ文献の研究手法や結果について、グループの研究課題に即したものかを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
6	①授業テーマ 研究計画立案① ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、グループ毎にこれまで行ったきたディスカッションから、研究の背景や目的、研究の意義、研究方法、倫理的配慮などを研究計画書に記入できるようになる（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。研究計画書に記入された内容について、さらにディスカッションを行い、研究実施に向け、問題点がないか確認できるようになる（F1、J2、M1）。 ③予習（120分） グループの研究課題を論理的に説明するための文献を収集し、記載内容を整理しておく。 ④復習（120分） 自身が選んだ文献の研究手法や結果がグループの課題に即したものかを確認し、グループ研究がより洗練されるようさらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
7	①授業テーマ 研究計画立案② ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、グループ毎にこれまで行ったきた文献研究やディスカッションから、研究の背景や目的、研究の意義、研究方法、倫理的配慮などを研究計画書に記入できるようになる（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。研究計画書に記入された内容について、さらにディスカッションを行い、研究実施に向け、問題点がないか確認できるようになる（F1、J2、M1）。 ③予習（120分） グループの研究課題を論理的に説明するための文献を収集し、記載内容を整理しておく。

	く。 ④復習（120分） 自身が選んだ文献の研究手法や結果がグループの課題に即したものを確認し、グループ研究がより洗練されるようさらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
8	①授業テーマ 実験や調査等の実施① ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、研究計画書に基づき、実験や調査等を行えるようになる（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。 ③予習（120分） 研究計画書を見返し、実験や調査等に必要な準備を行う。 ④復習（120分） 実験や調査等で得られた結果を正確に整理すると同時に、問題点や検討事項を整理しておく。
9	①授業テーマ 実験や調査等の実施② ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、研究計画書に基づき、実験や調査等を行えるようになる（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。 ③予習（120分） 研究計画書を見返し、実験や調査等に必要な準備を行う。 ④復習（120分） 実験や調査等で得られた結果を正確に整理すると同時に、問題点や検討事項を整理しておく。
10	①授業テーマ 実験や調査等で得られた結果の整理① ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、実験や調査等で得られた結果を分析し説明できるようになる（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。研究をまとめる際に、論理的な飛躍がないか考察内容を討論できるようになる（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。 ③予習（120分） 研究計画書に記載している分析方法を用いて分析を行えるようパソコンや分析ソフトの使用方法を確認しておく。 ④復習（120分） 分析結果を適切に保存し、考察内容をさらに洗練したものにするため、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
11	①授業テーマ 実験や調査等で得られた結果の整理② ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、実験や調査等で得られた結果を分析し考察する（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。研究をまとめる際に、論理的な飛躍がないか考察内容を討論できるようになる（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。 ③予習（120分） 研究計画書に記載している分析方法を用いて分析を行えるようパソコンや分析ソフトの使用方法を確認しておく。 ④復習（120分） 分析結果を適切に保存し、考察内容をさらに洗練したものにするため、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
12	①授業テーマ グループ研究のプレゼンテーション ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、グループ毎に、実施した研究をプレゼンテーションできるようになる（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。 ③予習（120分） グループ毎に研究結果をプレゼンテーションするために、Microsoft PowerPointを用いて資料を整理する。 ④復習（120分） プレゼンテーション後に行われた質疑応答で得られた検討事項や問題点を整理する。
13	①授業テーマ グループ研究の振り返り ②授業概要

	担当教員の実務経験を踏まえて、グループで行った研究を振り返り、ゼミナールⅡで行う個人研究を行う際の留意事項を説明できるようになる（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。 ③予習（120分） グループ研究で得られた課題を整理し、個人研究を行う際に検討しておくべき事項を確認してくる。 ④復習（120分） グループ研究を振り返り、研究を実施するための一連の流れを再確認する。
14	①授業テーマ 個人研究に向けたプレゼンテーション ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、ゼミナールⅡで行う個人研究に向け、自身の興味関心に基づき、研究で取り扱っていかうとする内容をプレゼンテーションできるようになる（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。 ③予習（120分） 個人研究で取り扱いたい内容を考え、Microsoft PowerPointを用いて整理し、プレゼンテーションする準備を行う。 ④復習（120分） プレゼンテーション後に行う質疑応答を踏まえ、個人研究計画書を作成できるよう、課題点を整理する。
15	①授業テーマ ゼミナールⅠのまとめ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、ゼミナールⅠで行われた授業内容を振り返り、ゼミナールⅡに向けて必要な情報を説明できるようになる（G1、F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1）。 ③予習（120分） 自身がゼミナール開始から収集、精読してきた文献に関する情報を整理しておく。 ④復習（120分） ゼミナールⅡで実施する個人研究をさらに洗練させるために必要な文献の整理を行う。
関連科目	「コーチング学研究法演習 SSCS 2317」（2年次後学期配当）、「ゼミナールⅡ SSCS4606」（3年次後学期配当）
教科書	適宜、資料を配布します（ポータルサイトにおいても配布します）。
参考書・参考URL	開講時に紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 火曜日の4時限目と水曜日の5時限目に設定しています。指定時間以外でも対応しますので、その際には予め、アポイントメントをとることにより研究室で対応します。
研究比率	

